

第1回 南幌町総合計画策定審議会＜議事概要録＞

日 時 令和7年8月28日（木）

14時から15時30分

場 所 役場3階 各種委員会室

出席者	委員：11名 木村会長、磯野副会長、高島委員、田中（薫）委員、田中（勝志）委員、永原委員、林委員、本間委員、増田委員、山下委員、吉田委員
	町：5名 大崎町長、斉藤課長、草沢課長補佐、加藤係長、下田主任
欠席者	委員：3名 酒井委員、竹山委員、若杉委員

1 開 会 事務局	本日は大変お忙しい中ご出席をいただきましてどうもありがとうございます。 ただいまより第1回南幌町総合計画策定審議会を始めてまいります。 初めに委嘱状の交付を行います。 町長が皆さんの席に回って委嘱状を交付いたしますお名前を読み上げいたしますのでご起立の上、お受け取りください。
2 委 嘱 状 交 付	大崎町長による各委員への委嘱状の交付を行う。 （委員11名）
3 町 長 挨 拶	南幌町総合計画策定審議会の開会にあたりまして、一言ご挨拶申し上げます。 皆様方におかれましては、何かとご多用の中お集まりをいただき、厚く御礼申し上げます。 ただいま、皆様に委嘱状を交付させていただきました。 総合計画は、まちの最上位計画であり、令和9年度から10年間を計画期間とする、第7期総合計画の策定を諮問するもので、大変ご負担をおかけいたしますが、よろしくお願いを申し上げます。 さて現在の人口は8,105人で、子育て世代を中心に人口増加が続いております。

	先日、総務省が公表した人口動態調査では、本町は日本人の人口増加率が全国で唯一、３年連続５位以内に入りました。 また、本町を取り巻く環境は、道央圏連絡道路の全面開通を見据えた動きを始め、ラピダスや北海道ボールパークなど、本町を含む道央圏域の人の流れがますます活発化になることが期待をされております。 これらの好環境を生かしながら地域経済や交流人口の拡大を図っていくことが、まちの活性化に繋がっていくものと考えております。 一方、町の課題は山積しております。今後のまちづくりにつきましては、社会情勢の変化に柔軟かつ適切に対応し、複雑化、多様化する町民ニーズに確実に応えていく必要がございます。 結びになりますが、委員各位におかれましては、まちづくりの指針となります総合計画の策定について、よろしくご高配を賜りますようお願いを申し上げまして、些事ではございますが、挨拶に代えさせていただきます。 皆様よろしくお願いいたします。
4 委員等の紹介	各委員から自己紹介をいただいた後、事務局の紹介を行う。
5 会長、副会長の選任 事務局	次に会長、副会長の選任の議題に入ります。 ここでお手元にある資料の１３ページをご覧くださいと思います。 総合計画策定審議会条例第４条第２項、この規定に会長及び副会長は委員の互選によって定めることとされています。 選任にあたりましては、大崎町長が仮議長となって進行をさせていただきますと思います。よろしくお願いいたします。
町 長	（大崎町長が仮議長となり司会進行を行い、会長及び副会長の選出方法について委員に諮る。） それでは会長副会長の選任を議題といたします。どのような方法で選出したらよろしいか、皆様にお諮りをいたします。
委 員	事務局案がございましたら、一任したいと思います。 委員の案が承認され、事務局に一任される。

6 審議会への諮問 事務局 会 長 事務局 副会長	事務局案として、次の委員を推薦し、承認される。 <u>会 長</u>：木村委員、<u>副会長</u>：磯野委員 大崎町長より木村会長に諮問文を手交する。 (終了後、大崎町長は公務により退席。) ここで木村会長それから、磯野副会長からご挨拶をいただきたいと思います。 まず木村会長お願いいたします。 今、会長に任命されました木村です。どうぞよろしくお願いいたしますします。 私の専門は経営学です。行動経済学という学問を聞いたことはありますでしょうか？ おいおいお話します。それとずっと大学時代から手がけているのが、地域創生学です。新しい学問の一つですが、いかに地域づくりをするかというのを 48 年間ずっとやり続けています。 先行研究等について皆さんにご説明したりしながら、進めさせていただければと考えています。 どうぞよろしくお願いいたしますします。 続きまして、副会長よろしくお願いいたします。 磯野です。 私はもう後期高齢者となりましたが、皆さんと一緒にいろいろ勉強していきたいと思います。 どうぞよろしくお願いいたします。 (以降、木村会長により進行)
7 趣 旨 説 明	事務局より議案 3 ページ「諮問の趣旨」、4 ページ「第 7 期総合計画に係る策定審議会の概要」、5～6 ページ「策定スケジュール概要」、7～11 ページ「第 7 期南幌町総合計画の策定に向けて【方針】」、12 ページ「南幌町総合計画策定条例」、13 ページ「南幌町総合計画策定審議会条例」、そして配布した後期基本計画をもとに実際に今後行う作業について説明する。

8 配布資料の説明	事務局より議案 14 ページ、「委員配布資料一覧」について説明する。
会 長	今、説明を受けましたけれども、質問や聞きたいことなどありますでしょうか。
委 員	議案 10 ページの（３）策定体制の行政経営会議の構成員の関係課長を教えてください。
事務局	総務課長、まちづくり課長、住民課長です。
会 長	あとはよろしいですか。 私から３点、わかる範囲で結構ですので説明ください。 一つ目は、町内に高校がない中で、先ほどのアンケート調査を高校生に実施するとありましたが、それはこの町から他のまちな高校に通学している方たちへ調査するということですか。 二つ目は、中学校を卒業したら高校がないからということでもちを出てしまう人がいるのかどうか。お父さん、お母さんは通えるから、子どもは高校の近場に行きたいからというので、まちを出てしまう。よくある話なんです。 三つ目が、この間も道内の市長と話してたんですけど、女性の流出が止まらないといった状況が発生してしまっていて。こちらのまちな場合は女性の流出というのは、どうなっているのでしょうか。わかる範囲で結構です。お願いします。
事務局	一つ目の高校生へのアンケートですが、会長からもお話があったように、本町には高校がないため、住民基本台帳に登録されている住民の方で、高校生の年代の方、実際に高校へ行っているかどうかは別にして、その年代の方へアンケートをお送りして実施いたします。 二つ目ですが、本町は以前から土地柄といいますか、高校に通うそれぞれの進路が非常に多くなっています。 家を出て下宿などは少ないでしょうけど、ＪＲ江別駅・野幌駅やＪＲ北広島駅までバスで通われるか、親に送迎して通われている方がほとんどです。また、交通費の助成も行っています。 ただ、近年全国的に公共交通機関の減便が課題となっています。

会 長	三つ目につきましては、本日データを持ち合わせておりませんけれども、令和2年度の国勢調査並びに本年10月に5年ぶりの国勢調査がございますので、そういったデータをご提供できるのではないかなと考えております。
会 長	ありがとうございます。 ご存知の方もいるかもしれませんが、名寄高校の前に駅を作り、通学しやすい環境を作ったという事例があります。 もう一点。K P I を知らない方がいるかもしれないので、説明していただけますか。
事務局	K P I なんですけれども、こちらにつきましては目標達成に向けた進捗状況について数値で可視化する指標になります。 例えば政策目標を観光入り込み客数の増加とした場合に、その目標を達成するための具体的な行動目標として、例えば南幌温泉の利用者数を何人にします。例えば町のホームページへのアクセス数を何件目指します。そういったものをK P I として設定しまして、それらを達成することで、大元の政策目標である観光入り込み客数の増加に繋げるという目標達成に向けた数値です。
事務局	はれっぱを建設する際に内閣府の交付金を使ったんですけども、そのときに計画を出すのですが、K P I を年間利用者数 12 万人ということで設定をしたところです。 補助金額が高いので有識者会議という専門家の方の審査会にかかった際に、この施設で 12 万人は来ないでしようと言われたんですね。 ただ実際、交付金を受けて建設をして、1 年間で 19 万人ということで、以降内閣府の方でも宣伝をしていただいて、視察も今非常によく来られている状況です。
会 長	途中で疑問点とか、この文言の意味は、といったときにはぜひ確認していただければと思います。 K P I の話をしましたが、私の内閣官房時、数値化するようになるとしてきました。たくさん来ますとか、多くの方が利用しますとか、これだとよくわからない。それどれぐらいの方が利用するんですかということで、数値化するということは大事です。効果を検証していくときに、正確にはいかないとしても、例えば 10 万

	人が利用するというのであればそれはどうしてですかという、 どういう根拠でその数値が出るんですかといったところも大事 だと思ってます。 不明な点があったら、その都度言っていただければと思いま す。
9 協 議 事 項	事務局より議案 15 ページ「会議の運営について（案）」を説 明。運営方法について事務局案が承認される。 ※日程調整に係る開催時間については、平日の午前または午後 を基本とすることです承をいただいた。
10 そ の 他	（１）次回日程について 事務局より、次回会議の日程については、2 月中に開催するこ ととし、後日日程調整を行う旨説明する。 （２）その他 事務局より、以下 4 点について説明する。 ① 10 月号広報への掲載 ② LINE グループの作成について ③ アンケート・ワークショップについて ④ 総合計画策定支援業務受託業者について
委 員	④の業者の名前を教えてください。
事務局	株式会社北海道二十一世紀総合研究所です。
会 長	どのような会社か少しだけ説明してもらえますか。
事務局	近年 5 年間で、いろいろな市町村の総合計画を 5 件ほど手掛 けている会社で、総合計画等の策定支援業務の実績がある会社 になります。 今回、その会社の提案でワークショップなども行うのですが、 ワークショップは大阪の大学と連携しまして、ゲーム感覚で楽 しみながら将来の住民の目線でどういったことをやるべきかな などを考えられるワークショップを企画していただいているとこ ろでございます。 今後も策定審議会に出て、説明などもしていただくこともあ ろうかと思いますのでよろしくお願いいたします。

会 長 委 員 会 長 11 閉 会 事務局	本日の議題はすべて承認ということでよろしいです。 異議なし。 それでは今後ともよろしくお願いいたします。 それでは第 1 回南幌町総合計画策定審議会を終了させていただきます。どうもお疲れ様でした。 以 上
--	--